



2～3月に市内で行われたイベントについてお知らせします



カマクラ作りをする参加者

2月11日(土・祝)12日(日)に、県立日光自然博物館をメイン会場として中禅寺温泉カマクラまつりが開催されました。

11日(土・祝)に行われた、「カマクラをつくろう」には、16組77名が参加しました。参加者たちは、各組ごとに力を合わせ、額に汗をかき、楽しみながらカマクラ作りをしていました。

また、ソリすべりやスケートを楽しむ家族もいました。



ソリすべりに夢中

川崎市から大学生時代の友人8人と訪れていた大石朋華さん(おおいしともか)は「インターネットでこのイベントを知り、応募しました。一番遠い友人は岡山県からこのイベントを楽しみにして来ました。カマクラを見るのも作るのも初めてで、雪が冷たく大変ですが、みんな楽しみながら作ってます」と満面の笑みで話してくれました。

今市の花市・全日本しもつかれコンテスト



縁起物のだるまを売る露店

2月11日(土・祝)に、JR今市駅前通りで花市が行われました。この日は快晴に恵まれ、縁起物のだるまや熊手などの露店が並び、大勢の来場者でにぎわいました。

また、同日に道の駅「日光」日光街道ニコニコ本陣で「第17回全日本しもつかれコンテスト」が行われました。これは、地元商店の関係者でつくる「今市おかみさん会」の主催で行われたもので、開場前からコンテストを楽しみに待つ長い行列ができるほど会場は盛り上がりを見せていました。

来場者は出品された全30点のしもつかれを1口ずつ味見し、それぞれの味の違いを楽しみながら、お気に入りの1品を選びました。総投票数533票のうち、82票を獲得した齋藤昇さん(さいとうのぼる、宇都宮市)が最優秀賞の「第17代鉄人」となりました。



味の違いを楽しむ来場者

中禅寺温泉「カマクラまつり」

「地球のステージ」コンサート

議場コンサート



映像に乗せて曲を演奏する桑山氏

2月12日(日)、道の駅「日光」日光街道ニコニコ本陣で、「地球のステージ」コンサートが開催されました。

NPO法人「地球のステージ」代表理事の桑山紀彦氏(くわやまのりひこ)のトークや弾き語りに合わせて、世界の紛争や貧困、災害に立ち向かう人たちの映像が流れると、会場に集まった参加者たちは真剣に耳を傾けていました。



議場で演奏する学生たち

2月17日(金)、定例会開会前の議場で、白鷗大学(はくおう)「ハンドベルクワイア」によるコンサートが開催されました。「議場コンサート」は、市民に議会を身近に感じてもらうことを目的に始まったもので、今回で2回目です。この日は15名の学生たちが、大小150種類ものハンドベルとチャイムを駆使し「春の海」や「レット・イト・ゴー」などを演奏しました。



今月の表紙

日光鉢石宿のおひなさま



華やかなつるしびなや段飾り

2月11日(土・祝)～3月3日(金)、「第12回日光鉢石宿のおひなさま」が開催されました。JR日光駅から神橋および西町地区の民家や商店などと、湯元温泉や霧降地区の宿泊施設が協力し、約150軒でひな飾りが展示されました。

日光郷土センターでは、段飾りやつるしびなの他、保育園児や幼稚園児手作りのひな人形などが、訪れた人を楽しませていました。

都内から家族で訪れた齋藤由佳ちゃんと綾乃ちゃん姉妹は「着せ替えおひなさま」を体験。おひなさま気分を味わい「楽しかった。また来たい」と笑顔で答えてくれました。

また、19日(日)の「おひなさまコンサート」では、マロニエトリオが「春のメドレー」や「ノクターン」など、アンコール曲を含め11曲を披露。来場者は優雅なひとときを過ごしました。



バイオリンとピアノの美しい調べ



地酒を買い求める来場者

2月18日(土)に、日光商工会議所青年部主催の日光地酒まつりが、鬼怒川温泉駅前広場で開催されました。

会場では、片山酒造と渡辺佐平商店の地酒などの地酒の他、小田原おでんや静岡おでんなど、9ブースが出店しました。

来場者は、地元の名産品やご当地おでんをつまみに日光の地酒を楽しんでいました。



横石氏を交えたパネルディスカッション

3月5日(日)、道の駅「日光」日光街道ニコニコ本陣で、地方創生シンポジウム「探し出せ! 日光の新しい宝」が開催されました。

「葉っぱビジネス」によるまちおこしの第一人者、株式会社いろどり代表取締役社長の横石知二氏による基調講演やパネルディスカッションが行われ、会場を訪れた約250名の来場者たちは、真剣な表情で話に耳を傾けていました。



講演した萩原氏(左)としまだ氏



パネルディスカッション



絵本の世界を音楽で表現「イーラちゃん楽団」

毎月4・14・24日の4の付く日「4デー(読んデー)」を読書の日に設定し、読書の楽しさを広めようと3月4日(土)、中央公民館でシンポジウムが開催されました。

第1部は、市出身でクライミング専門誌「ROCK & SNOW」(山と溪谷社)の編集長萩原浩司氏(山と溪谷社)の編集長萩原浩司氏と絵本作家のしまだともみ氏が講演し、それぞれの薦める本が紹介されました。第2部では、「読書

の日の過ごし方を考える」をテーマにパネルディスカッションが行われ、パネラーの萩原氏としまだ氏、前田博教育長が読書との付き合い方を紹介。また、インターネットなどの書評や積極的な図書館利用を勧めました。

第3部は、絵本の世界を音楽で表現したコンサートが行われ、絵本のスライド上映と生演奏の豪華な読み聞かせが披露されました。

日光地酒まつり

地方創生シンポジウム

「日光市読書の日」設定記念シンポジウム